

## 審査基準

審査項目	審査の視点	配点	参考書類
業務実績	類似業務の実績を十分有しており、そのノウハウを本業務に活かせるか。	5	業務実績書（様式3）
人員体制	提案内容を実施できる人材が予定されているか。	10	業務実施体制表（様式4）
実施方針	業務の目的や必要性を理解し、管路情報の収集からデータ作成に至る考え方・手法が具体的に示されているか。	5	企画提案書（任意様式）
実施フロー	業務の流れ、打合せ協議、社内照査等が明確に示されているか。	5	
工程計画	各工程の時間配分が適切であり、業務完了に至るまでの工程が明確に説明されているか。	10	
システム	データ入力・閲覧・検索・抽出機能の簡易性、有用性	15	
システムの将来性	将来的に、他システムに容易に対応(移行)能か。	15	
ライセンス費用	データ閲覧ソフトのライセンス費用	5	委託費提案書（様式5） 内訳明細書（様式6）
保守費用	保守サポートの費用	10	
委託費用	本業務価格	20	
合計		100	

1. 審査基準に基づき、公募参加申込書類、企画提案書、プレゼンテーション等について提案審査会により審査を行う。
2. 総合的に審査した結果、最も優れた者を契約の優先交渉権者とする。ただし、その者と合意に至らない場合は、次点の者と交渉を行う。
3. 評価点が同点の場合は、提案審査会で協議し優先交渉権者を決定する。